

1月例会「ふるさと」(1983年 神山征二郎監督作品)

感染症対策に極めて配慮しながら例会を行います

新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍が続いている中で日常生活が大きく変わってきています。

今年は「20周年」の年になり、例会を少しでも続けていきたいと考えています。20周年に向けて、運営委員会で話し合いましたが、会員みなさんの意見もお聞かせください。「共感もてる映画」「良質な映画」「心暖まる映画」を選び、「人との出会い」を大切に、また一年頑張っていこうと思います。

まだまだ、新型コロナウイルス感染の収束の先が見えませんが、感染予防の対策を取りながら、1月例会を開催します。参加にあたっては、①自宅で体温を測定、②体調が悪い時は参加しない、③入館時には手指の消毒④マスクの着用、⑤「3密」にならないようなるべく周囲の方と距離をおく」のルールを守って楽しく映画を楽しみましょう。

今年もよろしくお祈りします。

例会のお知らせ

■名称／第110回例会『ふるさと』

■日時／2021年1月26日(火)

①PM2:00～、②PM4:20～、③PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きしていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから「例会参加券」をお受取りください。

【例会作品データ】

■タイトル／ふるさと

■監督／神山征二郎

■出演／加藤嘉、長門裕之、榎山文枝、浅井晋、前田吟、樹木希林、花澤徳衛、草薙幸二郎、鈴木ヒロミツ、岡田奈々、篠田三郎

■データ／1983年、日本、106分

■ジャンル／ヒューマン

■解説／揖斐川の上流部、徳山ダムの建設でやがて湖底



に沈みゆくとしていた岐阜県揖斐郡徳山村(現揖斐郡揖斐川町)を描く。徳山村の出身で、同地で分校の先生をしていた平方浩介の著書『じいと山のコボたち』(童心社)を映画化したもの。痴呆症の老人と少年の親交を描きながら、消え行く徳山村の美しい自然を表現している。文化庁優秀映画奨励賞など多数の賞を受賞し、主演の加藤嘉がモスクワ国際映画祭の最優秀主演男優賞を受賞した。(「allcinema.net」から抜粋)

■作品選定の経緯／例会作品の選定にあたっては、いつも新しい作品から選んでいましたが、会の運営が厳しい中、比較的安価に上映できる作品を探していたところ、古い日本映画の中に、監督が神山征二郎、出演が加藤嘉、長門裕之、榎山文枝、浅井晋、前田吟、樹木希林、花澤徳衛、草薙幸二郎、鈴木ヒロミツ、岡田奈々、篠田三郎と、名だたるキャストが並んだ作品に皆の目が止まった。封切当時、大人になっていた面々も、この作品については、観ていた人もあり、観ていない人でも良い作品であることは何故か知っていた。

時代背景は、変わったかもしれないが、大きな力と、社会の弱者の視点から考えさせる本作は、加藤嘉の好演が特に見ごたえがある。

私の映画KAN「満月とビートルズ」

昨年12月、FMラジオをつけると映画「満月」の曲が流れていました。

「90年代にテレビで見た“原田知世”と“時任三郎”の武士がタイムスリップして現代の北海道に現れ—また、元の世界に戻っていく—というストーリー—エンディングで流れる英語がとても新鮮で好きな映画になっていました。そんなことを思い出しながら、曲が終わると紹介が始まり、そこで驚きました。ビートルズの曲です。知らなかった!!「ミスター・ムーンライト」1964年の作品を使っていたのです。知らなかったとはいえ、まだ、驚いています。1964年は、ちなみに11歳でした。(芳)

忘年会を開催しました

今年度の忘年会は、12月19日(土)に運営委員会と兼ねて、いつもの「明日香北在家店」で、茶話会として開催しました。参加者6名と運営委員会と同じメンバーで、近況や一年を振り返ったりしながら楽しい時を過ごしました。

前回の例会報告

11月26日の例会は、解雇されたプロバスケットボールのコーチが、飲酒運転事故を起こし社会奉仕活動を命じられ、知的障がい者たちのバスケットボールチームを指導することになり、メンバーの自由過ぎる言動にはじめは困惑しながらも、彼らの純粋さ、情熱、豊かなユーモアに触れて一念発起、全国大会でまさかの快進撃を見せるヒューマンドラマ『誰もが愛しいチャンピオン』を鑑賞しました。参加会員86人、明石シネマクラブからの参加者はありませんでした。

明石シネマクラブ例会情報

■名称／第63回特別例会

『神宮 希林 わたしの神様』

(2014年、日本、96分)

■監督／伏原健之

■出演者／樹木希林

■ジャンル／ドキュメンタリー

■解説／女優の樹木希林が初めてお伊勢参りに赴く姿を追ったドキュメンタリー。2013年、伊勢神宮は二十



年に一度の式年遷宮の年。遷宮とはいうなれば、神様のお引越し。神宮や伊勢志摩地方だけでなく、日本中がかかわる大きな「お祭り」でもあります。参宮街道を行き、お白石持行事などの祭事に参加、伊勢神宮の神域をめぐり、広大な神宮林の山に登り、俳句をひねる。女たちが祈る志摩の石神さまも訪ねます伊勢神宮への参詣を中心に種々の祭事に参加したり、鳥羽市の地元の海女さんたちを守る石神様を訪ねたりする姿を映し出す。

■日時／2月26日(金)①PM2:00—、②PM4:30—、③PM7:00—

■場所／アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kagogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

※ファクシミリ番号が変わっています。

会員数 135人(11月26日現在)